

UC E ニュース・レター 43

Vol.13, No. 2 Jul. 2012–Sept. 2012

第13巻第2号 (通巻43号)

編集：公益財団法人私立大学通信教育協会 発行：平成24年9月30日

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-16 大学通信教育ビル4階

TEL : 03-3818-3870 FAX : 03-5803-9939

「大学通信教育等における情報通信技術の活用に関する調査研究協力者会議」(文部科学省)が設置される

文部科学省では、去る8月「大学通信教育等における情報通信技術の活用に関する調査研究協力者会議」を立ち上げ、21日に第1回を、9月26日に第2回を開催した。この会議の主な目的は、これまでの中央教育審議会等における検討を踏まえつつ、大学通信教育をはじめ、大学における情報通信技術を活用した教育にかかる実態把握や課題整理を行い、大学教育の改善・充実を図ることを目的としている。また、いわゆるインターネット大学に対して施設面積基準を緩和している「特区 832」の全国化が課題とされており、これを専門的見地から検討することが求められていることも踏まえた議論を行うこととしている。

この協力者会議のメンバーは9名からなっており、このうち加盟校からは向後千春氏(早稲田大学教授)、五月女芳男氏(産業能率大学理事)、鈴木克夫氏(桜美林大学教授)、高橋陽一氏(武蔵野美術大学)の4名が加わっている。

同省ではこれに関連して、学部を中心に基礎的な調査を行っているが、本協会ではこうした委員を通じて出来るだけスムーズに私立大学通信教育のあり方や立場の主張を行う予定である。

文部科学省が学校基本調査速報を発表。通信教育の学生数は減少

文部科学省が平成24年度の学校基本調査速報を発表した。大学・大学院・短期大学の通信教育の調査結果の概要は次のとおりである。

通信による教育を実施している大学は54校(うち大学と大学院の両方で通信教育を行う学校は18校)、短期大学は11校で、前年度と同数である。

学生数は大学215,595人(男子94,903人、女子120,692人)、大学院8,505人(男子4,957人、女子3,548人)、短期大学20,354人(男子5,399人、女子14,955人)で、前年度より大学は1,641人減少し、大学院は264人、短期大学は865人それぞれ増加している。

正規の課程の学生数は大学171,048人(男子75,386人、女子95,662人)、大学院3,782人(男子2,291人、女子1,491人)、短期大学18,734人(男子5,157人、女子13,577人)で、前年度より大学は2,597人、大学院は15人減少し、短期大学は1,071人増加となっている。

正規の課程の学生の関係学科構成比をみると、大学では「社会科学」が25.7%で最も高く、次いで「教育」15.3%等の順である。また、大学院修士課程では「人文科学」が22.9%で最も高く、次いで「社会科学」17.5%の順、大学院博士課程では「人文科学」が23.5%で最も高く、次いで「教育」が11.7%の順である。短期大学では「教育」が64.8%で最も高く、次いで「社会」25.9%の順である。

日本通信教育学会が第60回研究協議会を開催

日本通信教育学会(会長：白石克己佛教大学教育学部教授)が、来たる11月17日(土)『第60回研究協議会』を開催する。

日 時 : 2012年11月17日(土) 10:00~17:30

場 所 : 桜美林大学四谷キャンパス 地下ホール

(東京都新宿区四谷 1-21 JR 四ツ谷駅、東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅より徒歩 3 分)

内 容(予定) : 10:00~10:10 会 長 挨拶 白石克己 (佛教大学教授)

10:10~10:50 自由研究発表

通信制高校の面接指導をめぐる原理的問題

—「いつでも」「どこでも」の理念との矛盾—

発 表 者 石川伸明 (愛知県立旭陵高等学校)

10:50~12:10 特別研究発表 (1)

初期遠隔教育論における“distance”の意義

—形態論から行為論への転換課程に注目して

発 表 者 古壕典洋 (東京大学大学院)

白石克己 (佛教大学教授)

12:10~13:30 総会 (会員のみ)、昼食・休憩

13:30~14:50 特別研究発表 (2)

私立通信制高校のエスノグラフィ

発 表 者 藤本研一 (星槎国際高等学校)

指定討論者 手島 純 (神奈川県立大和西高等学校)

14:50~15:10 休 憩

15:10~17:30 シンポジウム

大学通信教育における情報通信技術の活用について

—文部科学省の調査研究協力者会議の審議状況を踏まえて—

講 演 (約 40 分) :

講 演 者 児玉大輔 (文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐)

休 憩 (約 10 分)

パネルディスカッション (約 90 分)

パネリスト 児玉 大輔 (文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐)

五月女芳男 (産業能率大学理事)

田島 貴裕 (北海道大学高等教育推進機構技術専門職員)

松田 誠一 (公益財団法人私立大学通信教育協会研究事業課係長)

司 会 鈴木 克夫 (桜美林大学教授)

18:00~ 情報交換会 (希望者のみ、会費別途)

(敬称略)

問合わせ先 : 日本通信教育学会事務局 (〒194-0294 東京都町田市常磐町 3758 崇貞館 B608

桜美林大学 鈴木克夫研究室 E-mail : jade.office.obirin@gmail.com)

◆協 会 だ よ り◆

放送大学と協同で番組制作を行う

本協会では、放送大学の重要な委員会「放送番組委員会」の委員に理事長が代々就任しているが、このたび、放送大学の予算で、放送教育や通信教育全体のあり方を広く国民一般に知らせるような番組を制作し、放送大学を通じて放送を行うこととなった。

この特別番組の制作にあたっては、今夏既にいくつかの加盟校の協力を得てスクーリングの風景や卒業生のインタビューなどの収録も行った。また放送大学側も取材を進めており、大学通信教育全体としての社会的な役割や課題などにも触れ、現在、以下の予定での放送となっている。たくさんの方の視聴が望まれるため、各大学においても放送の告知をしていただければ幸いである。

(放送予定)

放 送 日 : 2012 年 12 月 15 日 (土) 23 : 15~24 : 00

番組名 (仮) : 特別番組 シリーズ遠隔教育の未来

通信制大学が果たす役割 ~日本の軌跡~ (仮)

チャンネル : 関東エリアは、地上デジタルチャンネル 12チャンネル

全国エリアは、BSデジタルチャンネル 231チャンネル

なお、再放送として、1月2日(水) 10:30~、2月7日(水) 23:15~も予定。

情報意見交換会を開催

当協会では、去る7月4日（水）東京ガーデンパレス（東京都文京区）にて、日向信和氏（文部科学省初等中等教育局教職員課 教員免許企画室長）を講師に招き、5月15日に中央教育審議会（教員の資質能力向上特別部会）から発表された「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」（審議のまとめ）についての説明と意見情報交換会を開催した。加盟35大学・大学院・短期大学から40名の参加があった。



（7月4日 意見情報交換会の様子）

秋期合同入学説明会が開催される。

当協会主催による平成24年秋期合同入学説明会が全国各地で開催された。全体で4.3%減少した（以下を参照）。
開催時間：土曜日 12：00～17：00 日曜日 11：00～16：00 （ ）内の数値は昨年

日程	開催地・会場	参加校数	来場者数・天気	増減	昨年比
8/25(土)	大阪（梅田ホテルタワーウエスト）	52(52)	568名・晴（628名・晴）	- 60名	- 9.6%
8/26(日)	名古屋（愛知県産業労働センター）	48(49)	378名・晴（367名・晴）	+ 11名	+ 3.0%
9/1(土)	東京（新宿エルタワー 30階）	57(56)	801名・曇（796名・曇）	+ 5名	+ 0.6%
9/2(日)	札幌（アスティホール）	36(37)	153名・晴（159名・雨曇）	- 6名	- 3.8%
9/2(日)	福岡（エルガーラホール）	41(47)	238名・晴（284名・曇）	- 46名	-16.2%
合計			2,138名（2,234名）	- 96名	- 4.3%

生涯学習に関する説明会に参加

「シンガク情報フェスタ」（主催：株式会社栄美通信）が、来たる10月6日（土）13:00～16:30（池袋サンシャインシティワールドインポートマート）、10月8日（月）13:00～16:30（横浜新都市ビル（そごう）/9F 新都市ホール）に開催される。本協会に大学通信教育の出展依頼（通常1ブース400,000円）があったため、参加する予定。参加費は無料。ブースでは、個別の説明・相談を行う。

また、去る7月に「パンフレットフェスタ2012年」（主催：サンケイリビング新聞社）が開催され、首都圏5会場と静岡駅の計6箇所、『大学通信教育ガイド2012』（大学・短大編）と（大学院編）を各300部配付した。参加料金は（通常1会場50,000円）、1万円×6会場＝63,000円だった。全体の来場者数は次のとおり。

日程	会場	来場者人数の合計
7月7・8日（土日）	さいたま新都心「コクーン新都心」	1,266人
7月12・13日（木金）	多摩都市モフレール「立川南」駅コンコース	1,127人
7月17・18日（火水）	JR 藤沢駅コンコース	1,036人
7月18・19日（水木）	つくばエクスプレス「秋葉原」駅	1,084人
7月19・20日（木金）	町田東急ツインズ店ウエスト	1,098人
7月12・13日（木金）	静岡駅北ロイイベントスペース	891人
合計		6,502人

なお、「秋の生涯学習ウィーク 2012in 新宿」(主催/サンケイリビング新聞社)にも、去る9月14日(金)・15日(土)・21日(金)・22日(土・祝)に無料で資料参加(「大学通信教育ガイド」)を行った。

専門委員会の審議報告について

当協会では去る7月17日に第8回大学通信教育政策検討委員会を、7月24日には第6回あり方検討・財政委員会を開催し、以下の審議結果を得た。この審議の最終決定は、11月26日開催予定の第147回理事会・第106回(臨時)評議員会での承認が必要である。

1. 大学通信教育政策検討委員会

- (1) 委員長・副委員長の選任について
委員長：福田 弥夫(日本大学)、副委員長五月女 芳男(産業能率大学)
なお、任期は平成26年6月開催の評議員会終結時まで。
- (2) 「大学通信教育等に関する調査研究協力者会議」でのICT等を活用した大学通信教育等の検討について
協力者会議の動向を見守り、状況に応じて意見聴取を行うことが確認された。
- (3) 大学通信教育ガイドラインの改正について
本ガイドライン改正案については各大学から意見の聴取を行い、再度本委員会で意見の集約を行い、最終の改正案とする。
- (4) ハッピーキャンパスでのレポートの売買について
第147回理事会・第106回(臨時)評議員会において意見を聴いた上で、どのように対応についての結論を出す。

2. あり方検討・財政委員会

- (1) 委員長・副委員長の選任について
委員長：木川 裕一郎(中央大学) 副委員長：船本 修三(大阪学院大学)
なお、任期は平成26年6月開催の評議員会終結時まで。
- (2) 平成24年度維持費納付項目の「経常費補助金合計にかかる相当額」について
6月25日開催の第105回評議員会において、日本私立学校振興・共済事業団の経常費補助にかかる大幅な算出方法の変更により、多くの加盟校が増額となる「経常費補助金合計にかかる相当額」は納付を見合わせ、あり方検討・財政委員会での検討を経て、第106回(臨時)評議員会の審議結果に基づき納付の依頼を行うこととなった。審議結果の主旨は次のとおり。
・「経常費補助金合計にかかる相当額」は、平成23年度経常費補助金1%相当額の22%の額とする。
尚且つ維持費額が400万円を超過する加盟校は、その超過する額の1/2の額を削減する。
- (3) 平成25年度の維持費について
維持費にかかる審議は、平成23年11月21日開催の第3回委員会において維持費のあり方及び各校の負担のあり方について意見があり、これまで審議を行ってきた。審議結果の主旨は次のとおり。
・平成25年度の維持費は、「経常費補助金合計にかかる相当額」を維持費の計算単価から外し、大学等あたり、学科等あたり及び学校基本調査の学生数の3つの単価で計算を行う。
学生数に応じた計算は、単価を150円として、学生数が5,000名超過の加盟校はその超過する人数の1/2の人数を削減して計算を行う。

▼このニュース・レターはホームページでもご覧になれます(URL：<http://www.uce.or.jp/newsletter.html>)。バックナンバーも掲載しています。▼このニュース・レターに関するお問い合わせ、ご意見ご希望は、公益財団法人私立大学通信教育協会(担当/松田)までお願いします(TEL：03-3818-3870 FAX：03-5803-9939)